

# ハイキング部だより

第208回

令和3年(2021年)6月5日(土)～ 柳生街道を歩く



コース:近鉄奈良駅～春日大社～柳生街道滝坂道～夕日観音～朝日観音～  
首切り地蔵～春日大社～近鉄奈良駅またはJR奈良駅(約10キロ)  
首切り地蔵から同じ道を引き返す

参加者 9名



緊急事態宣言が再延長されましたが6月5日(土)第208回ハイキングを実施しました。前回と同じ顔ぶれの7人と中間さんと孫の正也君(小3)の9人が参加しました。なかなか元気で明るい好少年で、10キロのコースを楽々と歩き切りました。悠人君(中1)が初めて参加した時のことが思い出されました。昨日の雨も上がり曇時々晴、梅雨ですがさらっとした歩きやすい天候でした。

10時近鉄奈良駅をスタート、県庁のところを興福寺の方へ曲がり、五重塔の横を通り猿沢の池を左に春日大社に向かって歩きました。外人の姿は全く見られず鹿は沢山いました。角を斬った後なのか牝ばかりなのか角のない鹿ばかりでした。鹿せんべいを売るおばさんの傍に張り付いて客の様子を伺っていました。一の鳥居から二の鳥居を通り春日大社にお参りして柳生街道の滝坂の道に入りました。柳生街道は奈良から笠置に通ずる全長約20キロの道で江戸時代柳生の道場を目指す剣豪たちが往来した道です。道の右には小川が流れて森に囲まれたとても良い雰囲気なのですが、石畳の道が続き昨日の雨で滑りやすく歩きにくいので難儀しました。特に下りは苦勞しました。しばらく歩くと朝日観音、夕日観音が岩肌には刻まれていました。鎌倉時代の作と言われ、朝日や夕日を受けると美しく映えてくるところからこのように名付けられたとされています。

首切り地蔵のところに12時過ぎ到着、ベンチやトイレがあるのでここで昼食。首切り地蔵は荒木又右エ門が試し切りしたという伝説があり街道の目印でした。2mぐらいの高さのところに切れ目が入っていました。食後は来た道と同じ道を引き返し、春日大社を通り猿沢の池のほとりを歩き2時過ぎ近鉄奈良駅に向かう人とJR奈良駅に向かう人とに分かれ解散しました。





首切り地蔵をバックに



奈良公園



興福寺



春日大社表参道



春日大社二之鳥居



春日大社拝殿



上の禰宜道



滝坂の道へ



柳生街道(滝坂の道)



滝坂の道入口



首切り地蔵をバックに 2021.06.05



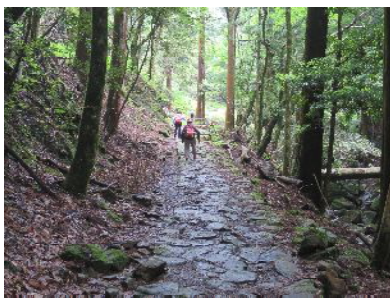
柳生街道



溪流に沿った石畳



寝仏付近



夕日観音付近



朝日観音



首切り地蔵休憩舎



首切り地蔵



猿沢池



近鉄奈良駅 行基菩薩像

## 第208回ハイキングは下記の計画で実施しました

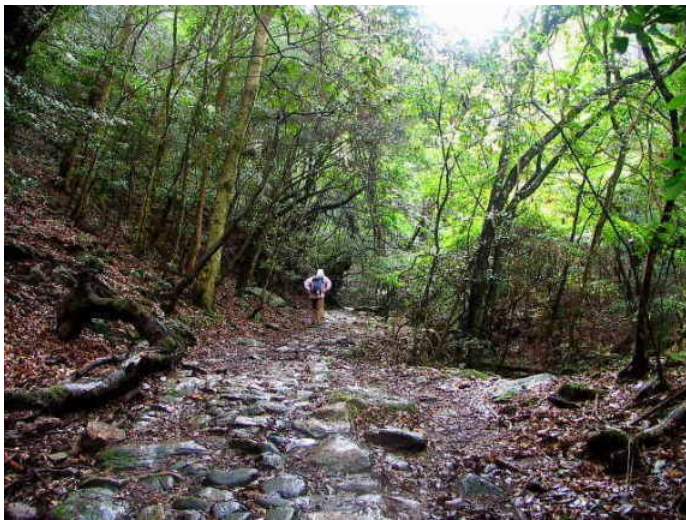
### ～ 柳生街道を歩く ～

日 時： 令和3年6月5日(土) 10時 近鉄奈良駅「地上の噴水付近」集合

コース:近鉄奈良駅～春日大社～柳生街道滝坂道～夕日観音～朝日観音～  
首切り地蔵～春日大社～近鉄奈良駅またはJR奈良駅(約10キロ)  
首切り地蔵から同じ道を引き返します

柳生街道は、春日山と高円山の谷あいの溪流に沿った石畳です。昼なお暗い樹林の中に苔むす石仏がたたずみます。江戸時代には柳生の道場をめざす剣豪たちが往来しました。首切り地蔵は、荒木又右エ門が試し切りしたという伝説があり古くから街道の目印でした。朝日観音は、東に向き朝日に映えるのでこの名があり、真ん中が弥勒菩薩、左右が地蔵菩薩です。夕日観音は夕日を受けると神々さがさらに増す石仏です。

このコースは第26回(平成17年(2005年)10月23日)、第37回(平成18年(2006年)9月24日)にも歩いています。



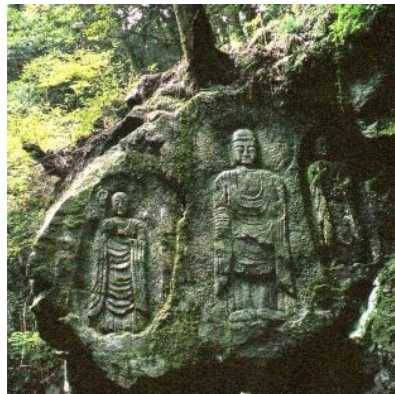
柳生街道滝坂道



柳生街道滝坂道



首切り地蔵



朝日観音



夕日観音